



南丹地区幼稚園・小学校・中学校・高等学校等連絡協議会・人権教育部会



人権学習授業を通して研修を深める

～亀岡市立蒔田野小学校における人権学習・取組報告～

5年生・公開授業(地域教材)

平成29年11月28日(火) 幼小中高連第2回人権教育部会が行われました。

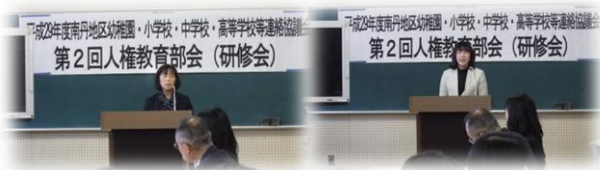
今年度は、亀岡市立蒔田野小学校を会場に、管内幼稚園・小学校・中学校・高等学校の先生方約30名が参加し、地域教材を使った5年生の人権学習の授業を参観しました。

昔の農家の人々の苦労や努力から、当時の人々の願いを考えました。



子ども達は、ペアやグループで話し合いながら、考えを深めていました。

金丸部会長と会場校園府校長のあいさつ



蒔田野小学校の取組報告



交流協議

「公開授業及び人権教育の取組説明から
これからの同和問題学習について考える」

人権教育主任の藤井教諭より取組報告



交流協議では、校種や地域をこえて活発な意見交換が行われました。

交流協議では、はじめに蒔田野小学校における人権教育の取組について、担当教諭から報告がありました。

地域教材を使って1年生から系統的に人権学習を積み上げてきている様子などについて分かりやすく説明いただきました。

後半はグループに分かれて、公開授業や各校・園における人権教育・人権学習の取組等について意見が交わされました。

「部落差別の解消の推進に関する法律」等が施行され、これからの人権教育、中でも同和問題学習をどう進めていけばいいのか、活発に意見が出され、有意義な交流協議が行われました。

参加者からの感想



・1年生から系統的な学習の積み上げが見える授業だった。

特に、地域教材を使っての学習は、子ども達に定着しているようで、地域の方の話の学習に活かそうとする姿勢がみられ、とても感動した。

・取組の説明を聞き、自校の人権教育を見直し、研修などを通して教職員の人権感覚を磨いていかなければならないと強く感じた。

・校種の違う先生方と人権認識の培い方について話ができて、改めて研修の大切さを感じた。

上垣副部会長のあいさつ

